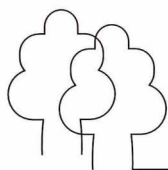

国土緑化運動五十年史



社団法人 国土緑化推進機構



序 文

(社)国土緑化推進機構会長 綿貫 民輔
衆議院議長

昭和25年1月、国民の各界各層の人々が結集して国土緑化推進委員会が設立され、国土緑化運動が一大国民運動として開始されてから50年の歳月が経過しました。

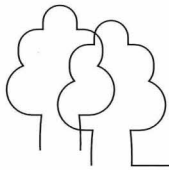
この間、社会・経済の変化に応じて、国土保全、森林資源の充実、生活環境の保全等時代に即応した緑化運動が展開され、世界に冠たる1,000万haの人工林造成など、我が国の緑化運動は大きな成果を挙げてまいりました。50周年という節目の年に当たり、これまで国土緑化に尽くされました皆様のご努力にあらためて深く感謝を申し上げます。

平成4年の地球サミット以降、持続可能な森林経営が課題となる中で、最近では、地球温暖化防止を始め国際的な観点からも国土緑化運動に大きな関心が寄せられています。

国土緑化推進機構では、このたび、これまでの50年にわたる緑化運動の歩みを取りまとめ今後の運動展開の指針とするため、「国土緑化運動五十年史」を発刊することといたしました。

森林や木材の役割に対します国民の期待が高まる中で、本書が幅広く国民の皆様方に読まれ、「森林の世紀」とも言われる21世紀の我が国の緑化運動推進に役立てられますことを心から期待します。

平成12年12月



ご挨拶

林野庁長官 伴 次雄

半世紀に及ぶ国土緑化運動は、一千万ヘクタールの人工林を生み出すなど、戦後の荒廃した国土を豊かな森林・緑で覆う大きな力となりました。

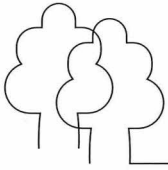
近年、物の豊かさより心の豊かさを求める国民意識の変化の中で、森林に対する要請は多様化・高度化する一方で、採算性の悪化や担い手の減少・高齢化等により、森林・林業を巡る環境は厳しさを増しております。

このような中で、林政審議会から、将来にわたり森林の多様な機能を持続的に発揮できる森林整備を基本的な考え方とする「新たな林政の展開方向」の御報告をいただき、平成12年12月、これを踏まえて「林政改革大綱」を取りまとめたところであり、今まさに林政の転換期にあります。

緑化政策につきましては、平成13年1月の省庁再編に伴い、新設置法に農林水産省の任務として「国土の緑化」が規定されるとともに、昭和58年に関係省庁の緑化施策の総合調整を行うため、総理府に設置された「緑化推進連絡会議」について、議長を内閣官房長官から農林水産大臣に引継ぎ、事務局を林野庁が担うなど、新世紀に向けた新たな国土緑化の推進体制が整っております。

先に、林野庁は森林の公益的機能の定量的評価額として約75兆円という金額を公表しましたが、国土緑化運動は、国民と森林とのあるべき姿を具体的に提示しつつ展開していくことが求められております。「国土緑化運動五十年史」は、今後の運動の方向をも照らし出す第一級の資料となっており、多くの方々に愛読され、運動に対する一層の理解と協力が寄せられ、ますます発展されることを期待いたします。

平成12年12月



刊行にあたって

(社)国土緑化推進機構
理事長 木村 尚三郎

昭和25年1月、各界各層の人々が結集して国土緑化推進委員会が設立され、国土緑化運動が幅広く開始されてから50年が経過しました。

我が国の経済社会や森林・林業を巡る情勢が大きく変動する中であって、緑化運動の課題も、戦後の「荒廃地造林」、「林種転換・拡大造林」から昭和40年代半ば以降、「環境」、「緑」、「森」とその運動範囲を広げながら、それぞれの時代に即応し、都市地域を含め緑化運動が継続的に展開されてきました。

国土緑化推進機構では、これまでに「国土緑化運動十五年」、「国土緑化20年の歩み」、「国土緑化三十年の歩み」を発行し、我が国の緑化運動推進に活用されてまいりましたが、このたび、50周年記念行事の一環として、「国土緑化運動五十年史」を刊行することといたしました。

本五十年史は、これまで刊行されました各年史に記録されている事項については、重要事項の記述のみにとどめ、最近の20年間の活動にポイントをおいて編集しました。

「自然と人間との共生」、「循環型社会の構築」が課題となる中で、このかけがえのない貴重な森林を未来に引き継ぐため、これまでの半世紀におよぶ緑化運動の成果の上に立った新たな国民運動の展開が求められています。

多くの方々に本書をお読みいただき、今後の緑化運動の参考にしていただければ、幸いです。

平成12年12月

荒れた国土に緑の晴れ着

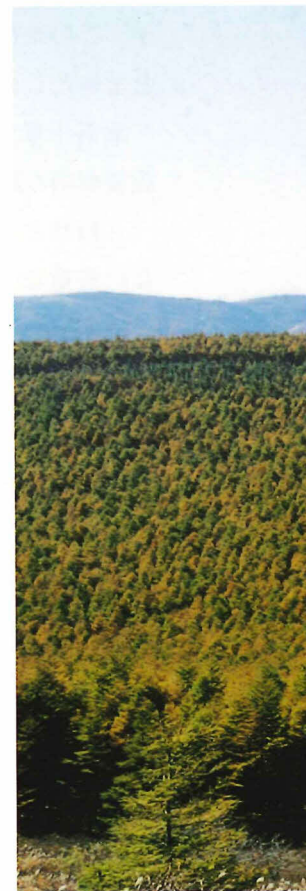
(昭和28年国土緑化運動標語)



善意の募金を積み重ねて(平成12年4月、東京・銀座)



未来を担う「緑の少年団」





第15回全国植樹祭(長野県茅野市、昭和39(1964)年)への参加者約1万5千人全員による大原野(八子ヶ峰)に展開する一斉植樹



それから36年後の平成12(2000)年現在の林相(カラマツ)

進む 国民参加の森林づくり



昭和25年4月4日山梨県甲府市での第1回植樹行事ならびに国土緑化大会でお手植をされる昭和天皇



平成12年4月23日、大分県大野町での第51回全国植樹祭でお手播きをされる天皇后両陛下



平成12年9月17日、福島県猪苗代町での第24回全国育樹祭で施肥をされる皇太子同妃両殿下



晴天の下で森林ボランティア「さがみの森」の春植え風景



利根川源流の群馬県水上町での刈払いや植林活動に集まった森林ボランティアの人たち(「自然・文化創造会議／工場(CCC)」)

50周年記念行事



国土緑化運動50周年記念式典
(平成12年8月30日、東京・虎ノ門パストラル、祝辞を述べる伴林野庁長官、右は国土緑化推進機構前会長・伊藤宗一郎前衆議院議長、下は式典会場)



「心にのこる緑の本50選」を公募と識者により選定



海外の児童・生徒を対象に「森」をテーマとする絵画コンクールを実施、写真はその入賞画集の表紙



ネパールの海外児童・生徒絵画コンクール表彰式
(平成12年5月23日、Himalaya Madyhamik Secondary School, Mauja村)このような授与式がそれぞれの国で行われた。

歴代の会長・ 最高顧問・理事長

国土緑化推進
委員会委員長・会長
国土緑化推進機構
会長(衆議院議長)



幣原 喜重郎
昭和25年1月30日～



林 讓治
昭和26年3月13日～



大野 伴睦
昭和27年8月26日～



堤 康次郎
昭和28年5月18日～



松永 東
昭和29年12月11日～



益谷 秀次
昭和30年3月18日～



星島 二郎
昭和33年6月11日～



加藤 鏞五郎
昭和33年12月13日～



清瀬 一郎
昭和35年2月1日～



船田 中
昭和38年12月7日～
昭和45年1月14日～



山口 喜久一郎
昭和40年12月20日～



綾部 健太郎
昭和41年12月3日～



石井 光次郎
昭和42年2月15日～



松田 竹千代
昭和44年7月16日～



中村 梅吉
昭和47年12月22日～



前尾 繁三郎
昭和48年5月29日～



保利 茂
昭和51年12月24日～



灘尾 弘吉
昭和54年2月1日～



福田 一
昭和55年7月17日～



福永 健司
昭和58年12月26日～



坂田 道太
昭和60年1月24日～



原 健三郎
昭和61年7月22日～



田村 元
平成元年6月2日～



櫻内 義雄
平成2年2月27日～



土井 たか子
平成5年8月6日～



伊藤 宗一郎
平成8年11月7日～



綿貫 民輔
平成12年7月4日～現在

国土緑化推進委員会
常任委員長・理事長
国土緑化推進機構
理事長

国土緑化推進委員会・
国土緑化推進機構
最高顧問
(参議院議長)



河野 謙三
昭和49年7月26日～



安井 謙
昭和52年7月28日～



徳永 正利
昭和55年7月17日～



木村 睦男
昭和58年7月18日～



藤田 正明
昭和61年7月22日～



土屋 義彦
昭和63年9月30日～



長田 裕二
平成3年10月4日～



原 文兵衛
平成4年8月7日～



斎藤 十朗
平成7年8月4日～



井上 裕
平成12年10月19日～現在



村上 龍太郎
(昭和25年1月～昭和39年10月)



徳川 宗敬
(昭和39年10月～昭和42年7月)
(昭和42年7月16日～平成元年5月1日)



澄田 智
(平成2年2月21日～
平成10年11月4日)



木村 尚三郎
(平成10年11月5日～現在)

国土緑化運動(植樹祭) ポスター及び標語にみる

50年 昭和26(1951)年度～
平成12(2000)年度

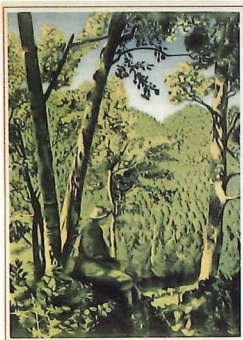


主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・文部省・関係各省

●昭和26年用
静岡県白羽村立
白羽中学校3年
高塚 伝

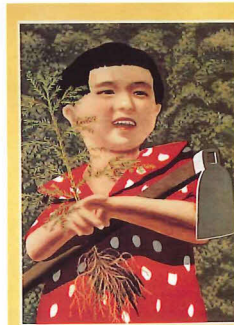
●昭和26年用
福岡県宗像郡宗像高等学校2年
小早川 亨



主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・文部省・関係各省

国土緑化
緑の大地に伸び行く日本



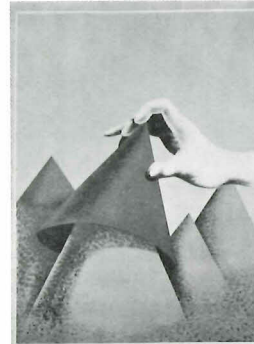
主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・関係各省・営林局署

国土緑化
ひとり一本国土の緑化

●昭和27年用
福岡県宗像郡
宗像高等学校3年
浜 文敏

▼●昭和28年用
宮城県一栗村立一栗中学校2年 桜田 昌子



主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・関係各省・営林局署

国土緑化
荒れた国土に緑の晴れ着

▼●昭和30年用
兵庫県立三木
高等学校2年
横山 淑子

●昭和29年用
神奈川県立神奈川工業高等学校3年
畑下 昌弘



主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・関係各省・営林局署

国土緑化
植えて明るいみどりの国に



主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・関係各省・林野庁

国土緑化
植えようみんなて野に山に

●昭和31年用
山口県大島郡大島町立屋代小学校4年
岡山 敏子



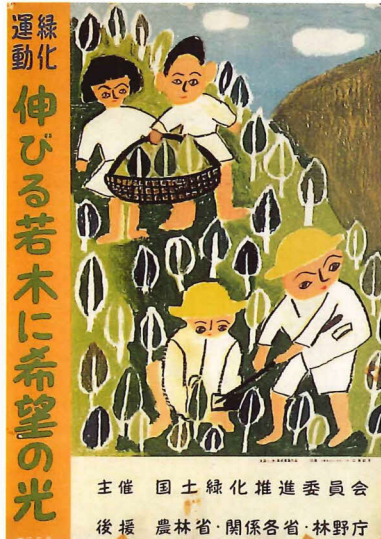
主催 国土緑化推進委員会

後援 農林省・関係各省・林野庁

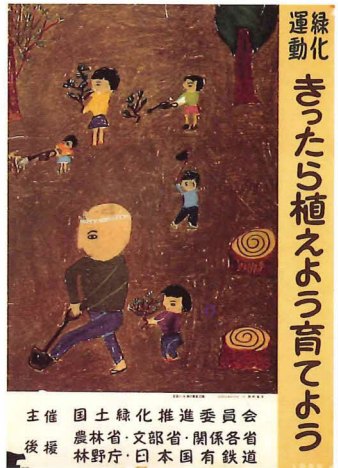
国土緑化
ぼくらも一役国土の緑化



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・関係各省・林野庁
●昭和三十二年用
佐賀県立有田工業高等学校2年 吉永 勝義



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・関係各省・林野庁
●昭和三十二年用
兵庫県志方町立志方小学校1年 広瀬 訓子



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道
●昭和三十四年用
広島県忠海町立忠海西小学校3年 西村 良子

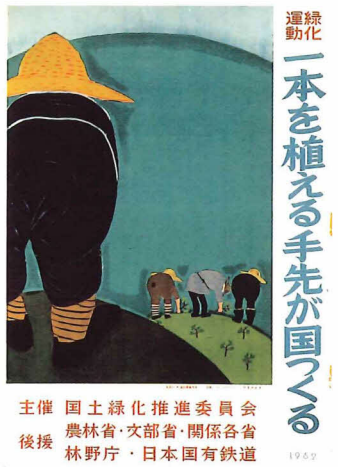
●昭和三十五年用
富山県立高岡工芸高等学校3年 金森 弘司



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道
1950



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道
●昭和三十六年用
徳島県麻植郡鴨島小学校5年 中川 真知子



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道
●昭和三十七年用
三重県立木本高等学校3年 竹本 ゆき子

●昭和三十八年用
静岡県相良町立地頭方中学校2年 植田 広子



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道
1945

●昭和三十九年用
三重県熊野市立波田須小学校5年 西口 安信



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道

●昭和三十九年用
山口県立高森高等学校3年 山本 益江



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道

●昭和三十九年用
徳島県川島町立川島小学校3年 大塚 勝夫

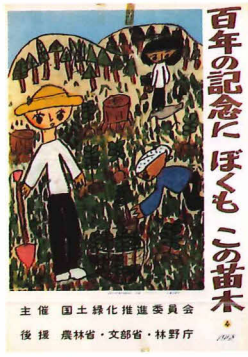


主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・関係各省・林野庁・日本国有鉄道



主催 国土緑化推進委員会
農林省・文部省
後援 関係各省・林野庁

●昭和42年用
富山県宇奈月町立宇奈月小学校
5年 長谷川 忍



主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・林野庁

●昭和43年用
徳島県麻植郡鴨島町立森山小学校
1年 工藤 佳都子



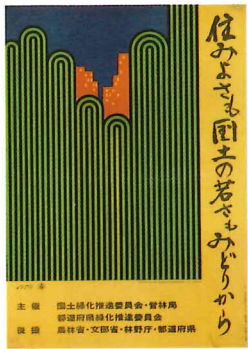
主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・林野庁

●昭和44年用
山口県平生町立平生小学校4年
中村 和敬



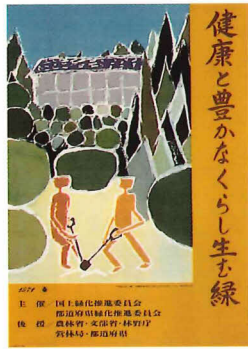
主催 国土緑化推進委員会
後援 農林省・文部省・林野庁

●昭和44年用
栃木県鹿沼市立北押原中学校2年
赤羽根 政夫



主催 国土緑化推進委員会・管林局
後援 国土緑化推進委員会
農林省・文部省・林野庁・都道府県

●昭和45年用
富山県立富山北部高等学校3年
草木 茂



主催 国土緑化推進委員会
後援 国土緑化推進委員会
農林省・文部省・林野庁
宮城県・都道府県

●昭和46年用
茨城県大宮町立大宮中学校2年
飯村 真由美



主催 国土緑化推進委員会
後援 国土緑化推進委員会
農林省・文部省・林野庁
都道府県

●昭和47年用
石川県門前町立本郷小学校内保教場1年
虎前 明宏



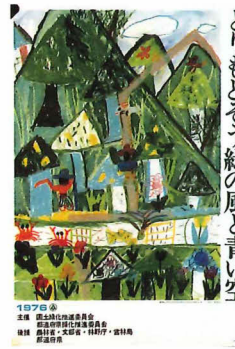
●昭和48年用
宮城県仙台市立愛宕中学校2年
石垣 江里

●昭和50年用
神奈川県立小田原城北工業高等学校2年
鈴木 英生

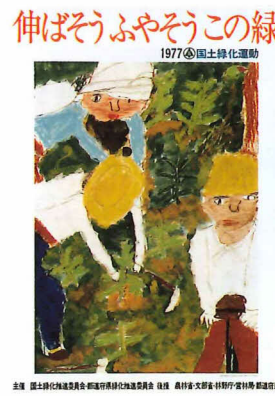
●昭和49年用
埼玉県加須市立昭和中学校3年
大木 久代



●昭和51年用
和歌山県湯浅町立山田小学校
1年 久保 かおり



●昭和52年用
三重県熊野市立有馬小学校2年
川上 かすみ



大地をささえる豊かな緑

1976 国土緑化運動



●昭和53年用
和歌山県近畿大学附属新宮女子
高等学校3年 久保 恵利子

1979 国土緑化運動

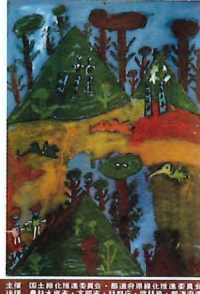


●昭和54年用
広島県沼隈町立常石小学校3年
神原 美智子

小さな手植えて広げる大きな未来

豊かな緑 みんなの郷土

1960 国土緑化運動



●昭和55年用
長崎県芦辺町立八幡小学校2年
百田 弘幸

1981 国土緑化運動



●昭和56年用
三重県志摩町立御座小学校
6年 柴原 由紀

大いなる未来につなぐこの緑

●昭和57年用
鹿児島県川内市立磯之城小学校
6年 市川 美紀

緑が生みだす力と希望

1982 国土緑化運動

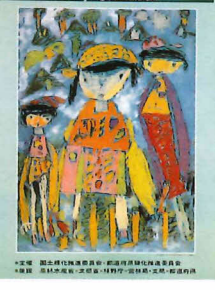


主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●昭和58年用
長崎県郷ノ浦町立盈科小学校
1年 山村 真理子

みんなで緑 みんなの国土

1983 国土緑化運動

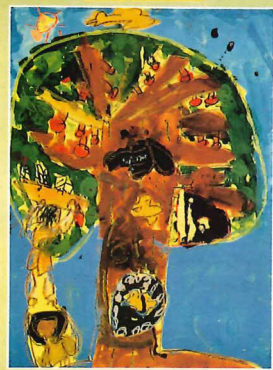


主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●昭和59年用
福井県敦賀市立中愛発小学校1年
藤井 香織

あふれる緑 豊かな文化

1984 国土緑化運動

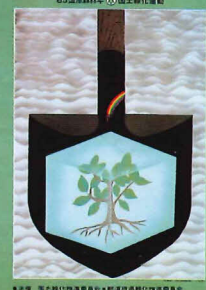


主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●昭和60年用
静岡県加藤学園高等学校1年
高木 英代

緑がひろく 明るい未来

1985 国土緑化運動



主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●昭和61年用
三重県立四日市高等学校2年
福永 浩司

つくる 育てる 緑の世紀

1986 国土緑化運動



主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●昭和62年用
群馬県立高崎北高等学校3年
中島 大一郎

かがやく緑 明るい国土

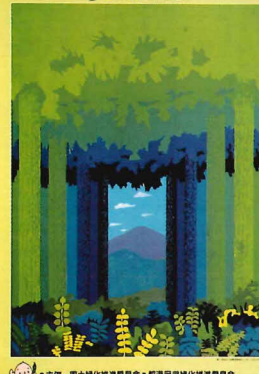
1987 国土緑化運動



主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

夢を育てる 緑の力

1988 国土緑化運動

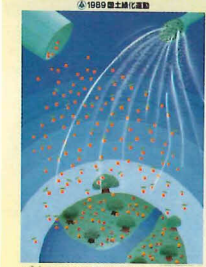


主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局

●平成元年用
静岡県静岡女子商業高等学校
併設中学校2年 大畑 法子

緑がつくる 明るい未来

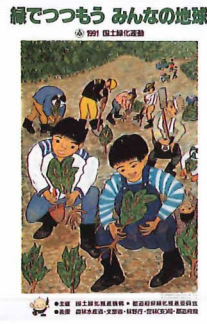
1989 国土緑化運動



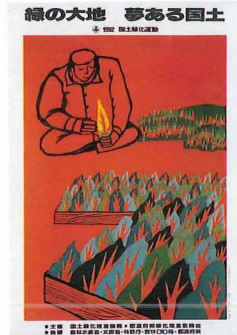
主催 国土緑化推進委員会・都道府県緑化推進委員会
後援 農林水産省・文部省・林野庁・資料局・資料局



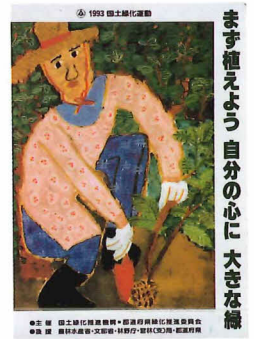
●平成2年用
広島県広島市立亀山中学校
3年 升田 幸枝



●平成3年用
徳島県板野町立板野東小学校
5年 東 淳哉



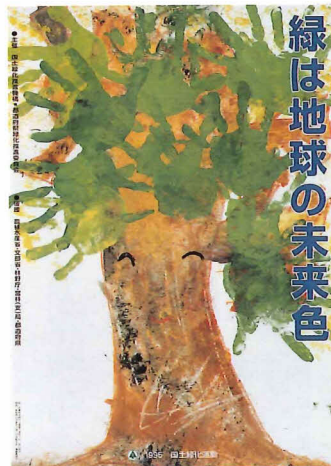
●平成4年用
福岡県福岡市立宮竹中学校3年
真鍋 朋子



●平成5年用
京都府福知山市立佐賀小学校
2年 大志万 典子



●平成6年用
岐阜県多治見市立北栄小学校
5年 林 沙悠梨



●平成7年用
兵庫県赤穂市立塩屋小学校1年 西山 耕平

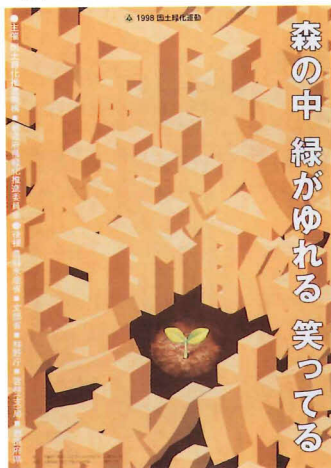


●平成8年用
香川県高松市立紫雲中学校1年
藤井 佳代
標語:山形県山形市立高瀬小学
校6年 酒井 舞



●平成9年用
宮城県山元町立板元中学校3年
佐藤 咲子
標語:栃木県(会社員)
大竹 吉二郎

●平成10年用
千葉県千葉市立こてはし台中学校1年
大森 奈々美
標語:兵庫県神戸市立平野小学校5年
藤本 江美



●平成11年用
福井県勝山市立荒土小学校1年
中村 美穂
標語:沖縄県宜野湾市立真志喜中学校3年
富山 愛子



●平成12年用
長崎県郷ノ浦町立三島小学校原島分校3年 永元 美帆
標語:静岡県島田市立六合中学校3年 榛地 清香

目次

序文	会長 衆議院議長 綿貫 民輔
ご挨拶	林野庁長官 伴 次雄
刊行にあたって	理事長 木村 尚三郎
口絵	

総論

第1章 国土緑化運動の歩み	11
1.「荒れた国土に緑の晴着」で始まる緑化運動.....	11
●概要	
(1) 国土緑化運動前史	(3) 国土緑化推進委員会の創設
(2) 森林愛護連盟の結成	(4) 三大国土緑化運動の開始
2.飛躍・発展する緑化運動.....	15
●概要	
(1) 全国植樹祭	(3) 学校植林運動の展開
—国土緑化運動の中心的行事—	(4) 多様な緑の増殖運動
(2) 緑の羽根募金運動	(5) 緑の少年団活動の展開
3.環境緑化がテーマの緑化運動.....	24
●概要	
(1) 時流に伴う運動体の整備	(3) 市民による緑化活動
(2) 環境保全に呼応する緑化運動の 実践	(4) 都市緑化の推進
4.国民参加の森林づくり運動.....	28
●概要	
(1) 全国育樹祭の開催	(4) 緑と水の森林基金
(2) 緑化推進連絡会議	(5) 全国緑化キャンペーン
(3) 21世紀の森林づくり委員会 <small>みどり</small> の提言	
5.新たなる国土緑化運動.....	32
●概要	
(1) 国民の祝日・みどりの日の制定	(3) 森林ボランティアの台頭
(2) 新たな緑化運動—緑の募金—	(4) 国際緑化

第2章 (社)国土緑化推進機構の歩み	37
1.組織・業務の変遷	37
(1)国土緑化推進委員会の結成	国土緑化推進機構への改組
(2)国土緑化推進委員会の社団法人化	(4)緑の募金事業の実施
(3)「緑と水の森林基金」の創設と	(5)日中緑化協力委員会に対する支援事業の実施
2.業務執行体制	41
(1)国土緑化推進委員会発足から社団法人化まで	(2)社団法人化以降
3.国土緑化推進機構の収入支出の推移	41

各論

第1章 全国植樹祭・全国育樹祭の開催	45
1.全国植樹祭	45
(1)愛林日植樹行事 45	(4)第2巡目の全国植樹祭 80
(2)植樹行事ならびに国土緑化大会 46	(5)全国植樹祭 御製一覧 94
(3)全国植樹祭 60	
2.全国育樹祭	96
(1)全国育林祭	(2)全国育樹祭
第2章 緑の募金	117
1.緑の募金運動の歩み	117
(1)国土緑化運動のシンボルとしてスタート	(4)国民参加の森林づくりをテーマに展開する募金運動
(2)展開する緑の羽根募金運動	(5)地球環境を視野に入れた本格的な募金運動の開始
(3)環境緑化面からも重要になる緑の羽根募金	
2.緑の募金法の制定と中央募金の展開	133
(1)募金法制定の背景	(3)募金法の目的・理念及び仕組み
(2)募金法制定の経過	(4)募金運動の展開

第3章 緑と水の森林基金	147
1.創設の背景,経緯等	147
(1)「21世紀の ^{みどり} 森林づくり委員会」の 提言	(2) 水源税創設運動 (3) 森林基金の設置
2.募金活動及び基金の運用	152
(1) 募金活動	(2) 基金の運用
3.事業の実施の枠組み	155
(1) 基金事業実施に当たっての各種 規程の制定	(2) 基金事業実施のフレームワーク
4.森林基金事業の実施	157
(1) 創設以来の重点課題の推進	(2) 創設以降10年間の事業成果
5.今後の「森林基金事業」の目指すもの	164
第4章 学校林と学校環境緑化	174
1.学校林運動	174
(1) 学校造林のはじまり	(3) 学校造林面積の減少
(2) 学校植林5ヵ年計画	(4) 今後の学校林運動
2.学校環境緑化運動	179
(1) 学校環境緑化への取り組み	(2) 学校における緑化活動
3.全日本学校林コンクール	181
(1) 全日本学校植林コンクール	(3) 全日本学校関係緑化コンクール
(2) 全日本学校環境緑化コンクール	
4.ノースロップ賞	185
5.学校林の現況	185
(1) 学校林の面積	(2) 学校林の活用状況
6.学校林研究会	188
第5章 緑の少年団活動の展開	189
1.緑の少年団の誕生と発展	189
(1) グリーン・スカウトの提唱	(3) 組織の成長と活動の多様化
(2) 緑の少年団結成の提案	(4) 全国緑の少年団連盟の設立

2.全国緑の少年団活動発表大会	194
3.緑の少年団の交流集会	195
(1) 全国緑の少年団交流集会	(3) 各地の緑の少年団交流集会
(2) 緑の少年団全国大会	
4.研修	197
(1) 指導者研修会	(2) 海外研修
5.緑の少年団安全会の設置	198
第6章 森林ボランティア活動	200
1.森林ボランティア活動の黎明	200
—市民による森林づくりの胎動—	
2.森林ボランティア活動への社会的関心の高まり	200
3.森林ボランティア活動の新たな動向	201
(1) 森林ボランティア団体のネット	(3) 森林ボランティア活動の拠点整備
ワーク化	—「緑のボランティアの森」記念造
(2) 森林と市民を結ぶ全国の集い	成事業他
4.森林ボランティア活動への国土緑化推進機構の支援	203
(1) 国民参加の森林づくり推進事業	(3) 緑の募金事業
(2) 緑と水の森林基金事業	(4) 森林の整備活動支援事業
第7章 各種コンクール等、普及啓発活動	206
1.各種コンクールの開催及び表彰	206
(1) 国土緑化運動ポスター原画コンク	(4) ふれあいの森林づくり優良市町村
ール	等の表彰
(2) 全日本学校林活動・環境緑化コン	(5) ノースロップ賞
クール	(6) みどりの文化賞
(3) 国土緑化功労者の表彰・育樹運	(7) エコマテリアル・スカラシップ基金
動コンクール	
2.みどりの感謝祭	208
3.国土緑化運動記念切手について	209

4.機関誌の発行等	209
(1)「ぐりーん・もあ」の発行	
(2)「緑の募金だより」の発行	
(3)ボランティア情報等の提供	
(4)ホームページの開設	
5.その他	210
(1)国土緑化推進機構旗	
(2)アイドルキャラクター	
(3)緑の募金マーク	
(4)レコード等	
第8章 各種の緑化活動	213
1.国際交流の推進	213
2.国際森林年	214
3.「全国緑化行事発祥の地」記念碑建立	215
4.『緑化の父』の編集	216
5.森と花の祭典	217
6.民間企業による緑化活動支援	217
7.「21世紀における国土緑化運動」についての検討	218
8.「日中緑化交流基金」への支援	219
第9章 国土緑化運動50周年記念事業	221
1.概要	221
2.主な事業	221
(1)記念キャンペーン	
(2)記念事業・行事	

都道府県における緑化活動 229

資料

第1章 国土緑化運動年表	327
第2章 主要規程・要綱類	368
1.通則	368

●社団法人 国土緑化推進機構定款	●社団法人 国土緑化推進機構事業 運営要綱	
2.全国植樹祭・全国育樹祭		374
●全国植樹祭運営要領	●全国育樹祭運営要領	
3.緑の少年団		377
●全国緑の少年団連盟規約	●緑の少年団団則(ひな形)	
●緑の少年団安全会々則		
4.緑の募金		380
●緑の募金による森林整備等の推進に関する法律	●緑の募金による森林整備等の推進に関する法律の施行について(事務次官通達)	
●緑の募金による森林整備等の推進に関する法律施行規則	●緑の募金による森林整備等の推進に関する法律の運用について(林野庁長官通達)	
●緑の募金の実施期間を定める件		
5.緑と水の森林基金		389
●国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」 業務方法書	●「緑と水の森林基金」の事業について	
6.全国緑化推進委員会連絡協議会		392
●全国緑化推進委員会連絡協議会会則		
7.参考資料		393
●日中民間緑化協力委員会の設置に関する 日本国政府と中華人民共和国政府との間 の交換公文	●「みどりの日」制定について	
●国会における国土緑化関係決議等 拳国造林に関する決議	●「みどりの週間」について	
●国土緑化推進に関する決議	●都道府県の花・木・鳥	
第3章 関連統計		399
1.収入支出関連統計		400
(1) 国土緑化推進委員会収入支出 (決算額)の推移	(2) 国土緑化推進機構収入支出(決算額) の推移	
2.緑の募金関連統計		402
●緑の(羽根)募金実績の推移		

3.緑と水の森林基金関連統計	407
(1)「森林基金」事業特別会計支出予算の 計画・実行一覧表	
(2) 森林基金年度別拠出金額	
4.学校林関連統計	409
●学校林の都道府県別保有校及び面積	
5.緑の少年団関連統計	410
(1) 緑の少年団、団数及び団員数	
(2) 全国緑の少年団連盟一覧表	
 第4章 表彰関係	 412
●各賞解題・沿革	412
1.みどりの文化賞	414
2.国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入選者	415
(1) 国土緑化運動ポスター原画コンクール	
(2) 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画 コンクール	
附：ポスター標語の一覧	
①国土緑化運動ポスター標語	
②育樹運動ポスター標語	
3.全日本学校植林（全日本学校関係緑化）コンクール表彰校	438
(1) 全日本学校植林コンクール表彰校	
(2) 全日本学校植林・環境緑化コンクール 表彰校	
(3) 全日本学校造林・環境緑化コンクール 表彰校	
(4) 全日本学校林活動・環境緑化コンク ール表彰校	
(5) 全日本学校関係緑化コンクール表 彰校	
4.緑化功労者	463
●緑化功労者	
附：記念表彰（運営功労者等）	
①国土緑化運動10周年記念受賞者	
②国土緑化運動30周年記念受賞者	
③国土緑化運動50周年記念表彰	
5.全国緑の少年団活動発表大会入賞団体	474
6.みどりの奨励賞受賞団体	477
7.緑の少年団育成会表彰者・団体	479

8.全国育林技術(育樹活動)コンクール受賞者	482
(1) 全国育林技術コンクール受賞者	
(2) 全国育樹技術コンクール受賞者	
(3) 全国育樹活動コンクール受賞者	
9.ふれあいの森林づくり表彰受賞市町村	490
10.ノースロップ賞受賞者	491
第5章 歴代会長・理事長等役員及び事務職員一覧	496
第6章 (社)国土緑化推進機構会員及び賛助会員名簿	498
第7章 カラーパンフ「国土緑化運動50年—写真でみる歩み—」	501
編集後記	523